まるごとひふみ

まるごとひふみ15　追加型投信/内外/資産複合
まるごとひふみ50　追加型投信/内外/資産複合
まるごとひふみ100　追加型投信/内外/株式
2023年1月度　月次運用レポート

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。

作成基準日：2023年1月31日

まるごとひふみ15 運用実績

基準価額等の推移（日次）

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ15	1.78%	0.58%	-4.01%	-8.42%	-	-9.59%

まるごとひふみ15の運用状況

基準価額	9,041円
純資産総額	82.48億円

まるごとひふみ15投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	84.59%
ひふみ投信マザーファンド	8.94%
ひふみワールドファンド*	6.06%
現金等	0.41%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+158円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	+113円
ひふみ投信マザーファンド	+23円
ひふみワールドファンド*	+27円
信託報酬・その他	-5円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	+124円
株式・投資証券	+59円
為替	-20円
信託報酬・その他	-5円

※「まるごとひふみ」は、「まるごとひふみ15」「まるごとひふみ50」「まるごとひふみ100」の３ファンドの総称です。
※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。
※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。
※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。
※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。
＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。
※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。
※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。
※「まるごとひふみ15」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」85%、「ひふみ投信マザーファンド」9%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」6%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

まるごとひふみ50 運用実績

基準価額等の推移（日次）

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ50	2.55%	-0.22%	-1.84%	-4.56%	-	-7.91%

まるごとひふみ50の運用状況

基準価額	9,209円
純資産総額	295.02億円

まるごとひふみ50 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	49.33%
ひふみ投信マザーファンド	30.13%
ひふみワールドファンド*	20.11%
現金等	0.43%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+229円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	+68円
ひふみ投信マザーファンド	+77円
ひふみワールドファンド*	+92円
信託報酬・その他	-8円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	+75円
株式・投資証券	+195円
為替	-33円
信託報酬・その他	-7円

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ50」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」50%、「ひふみ投信マザーファンド」30%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」20%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

まるごとひふみ100 運用実績

基準価額等の推移（日次）

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ100	3.66%	-1.37%	1.24%	1.07%	-	-6.14%

まるごとひふみ100の運用状況

基準価額	9,386円
純資産総額	406.56億円

まるごとひふみ100投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	59.61%
ひふみワールドファンド*	40.01%
現金等	0.38%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+331円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみ投信マザーファンド	+154円
ひふみワールドファンド*	+187円
信託報酬・その他	-10円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
株式・投資証券	+394円
為替	-53円
信託報酬・その他	-10円

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ100」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみ投信マザーファンド」60％、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」40％を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	241.59億円
組み入れ銘柄数	35銘柄

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	3.04%
デュレーション	7.9

種別比率	
国債	52.05%
社債	22.87%
住宅ローン担保証券	6.18%
特殊債	2.85%
地方債	1.84%
国際機関債	1.04%
-	-
現金等	13.16%
合計	100.00%

格付比率	
AAA	27.80%
AA	4.08%
A	48.85%
BBB	6.10%
BB以下	-

資産別比率	
海外債券	65.76%
国内債券	21.08%
-	-
現金等	13.16%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率
96.51%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	41.12%
2 日本円	21.08%
3 ユーロ	19.95%
4 中国元	2.85%
5 オーストラリア・ドル	1.84%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	41.79%
2 日本	23.12%
3 スペイン	6.43%
4 イタリア	6.10%
5 中国	2.85%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」は、現物債券について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 日本国債（30年）	国債	日本	日本円	2052/12/20	10.73%
2 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	7.68%
3 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2032/10/31	6.43%
4 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2032/12/1	6.10%
5 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2027/12/31	4.35%
6 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2052/3/25	4.04%
7 日本国債（40年）	国債	日本	日本円	2062/3/20	3.67%
8 バンク・オブ・アメリカ	社債	アメリカ	ユーロ	2026/9/22	3.48%
9 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	3.33%
10 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	3.17%

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況	
純資産総額	7,090.04億円
組み入れ銘柄数	275銘柄

資産配分比率	
国内株式	89.31%
海外株式	4.82%
現金等	5.87%
合計	100.00%

市場別比率	
プライム市場	86.46%
スタンダード市場	2.38%
グロース市場	0.47%
その他海外株	4.82%
現金等	5.87%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率		
1	情報・通信業	12.33%
2	電気機器	11.06%
3	銀行業	10.70%
4	サービス業	7.05%
5	機械	4.81%
6	保険業	4.52%
7	食料品	4.37%
8	化学	4.21%
9	小売業	4.14%
10	建設業	3.93%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。
大型(3,000億円以上)
中小型(300億円以上、3,000億円未満)
超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	2.43%
2	アドバンテスト	6857	大型	プライム市場	電気機器	2.42%
3	東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	1.90%
4	第一生命ホールディングス	8750	大型	プライム市場	保険業	1.86%
5	三井住友フィナンシャルグループ	8316	大型	プライム市場	銀行業	1.82%
6	日本電信電話	9432	大型	プライム市場	情報・通信業	1.79%
7	ＧＭＯペイメントゲートウェイ	3769	大型	プライム市場	情報・通信業	1.77%
8	ディスコ	6146	大型	プライム市場	機械	1.55%
9	味の素	2802	大型	プライム市場	食料品	1.55%
10	インターネットイニシアティブ	3774	大型	プライム市場	情報・通信業	1.54%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	228.63億円

投資信託財産の構成	
ひふみワールドマザーファンド	99.79%
現金等	0.21%
合計	100.00%

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	
純資産総額	2,780.83億円
組み入れ銘柄数	152銘柄

資産配分比率	
海外株式	94.64%
海外投資証券	0.44%
現金等	4.92%
合計	100.00%

組み入れ上位10カ国 比率		
1	アメリカ	66.68%
2	ドイツ	5.19%
3	中国	4.18%
4	スイス	3.78%
5	イタリア	2.06%
6	台湾	2.06%
7	アイルランド	1.86%
8	オランダ	1.62%
9	オーストラリア	1.53%
10	フランス	1.44%

組み入れ上位10業種 比率		
1	ソフトウェア・サービス	19.11%
2	資本財	12.24%
3	半導体・半導体製造装置	9.09%
4	食品・飲料・タバコ	7.80%
5	自動車・自動車部品	6.73%
6	各種金融	5.48%
7	小売	4.70%
8	消費者サービス	4.39%
9	耐久消費財・アパレル	4.15%
10	メディア・娯楽	3.80%

組み入れ上位10通貨 比率		
1	米ドル	75.26%
2	ユーロ	7.95%
3	スイス・フラン	3.78%
4	台湾ドル	1.56%
5	オーストラリア・ドル	1.53%
6	中国元	1.45%
7	イギリス・ポンド	1.28%
8	ノルウェー・クローネ	0.74%
9	香港ドル	0.74%
10	スウェーデン・クローナ	0.60%

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.67%
2	TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.54%
3	MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.36%
4	PALO ALTO NETWORKS, INC.	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.07%
5	INTUIT INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.06%
6	FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.06%
7	MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	ユーロ	資本財	2.04%
8	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA	スイス	スイス・フラン	耐久消費財・アパレル	2.02%
9	ORACLE CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.93%
10	ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.86%

ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績

期間：2021年3月30日～2023年1月31日

ひふみグローバル債券マザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	1.51%	1.06%	-4.73%	-9.76%	-	-9.69%

ひふみ投信マザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみ投信マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	2.83%	0.60%	2.32%	1.64%	-	-10.88%

ひふみワールドマザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみワールドマザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	5.24%	-3.49%	1.28%	3.56%	-	8.26%

※「まるごとひふみ」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「まるごとひふみ」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「まるごとひふみ設定来」は、「まるごとひふみ」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「まるごとひふみ100」は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」は組み入れていません。

※「まるごとひふみ」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

運用責任者よりお客様へ：まるごとひふみ

まるごとひふみ15は、組み入れ全ファンドが上昇したことで、基準価額は前月末に比べて1.78%上昇しました。

まるごとひふみ50は、組み入れ全ファンドが上昇したことで、基準価額は前月末に比べて2.55%上昇しました。

まるごとひふみ100は、組み入れ全ファンドが上昇したことで、基準価額は前月末に比べて3.66%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

世界的な株価の上昇に日本株も連動したほか、日銀の1月の金融政策決定会合で警戒されていた金融緩和策の追加修正がなかったことが好感され日本の株式市場が上昇し、当ファンドの基準価額は2.83％上昇しました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米欧の消費者物価指数が軟化傾向を示しインフレに対する懸念が和らぐなか、過度な金融引き締めに対する警戒感が後退したことや、中国のゼロコロナ政策の解除で同国の景気回復への期待が高まったことなどを背景に世界的に株価が上昇し、当ファンドの基準価額は5.25％上昇しました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米欧の消費者物価指数が軟化傾向を示しインフレに対する懸念が和らぐ一方で、景気の減速を示す経済指標が散見されるなかで、米国の利上げペースの減速観測が高まったことなどから世界的に金利が低下（債券価格は上昇）し、当ファンドの基準価額は1.51％上昇しました。

米欧をはじめ世界の多くの国々では昨年のインフレ圧力の上昇局面で積極的な利上げを実施してきましたが、これらの国・地域ではインフレ圧力に低下がみられており、FRB（連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）といった世界の主要中央銀行は利上げ幅を圧縮し始めるなど明るい材料も見られるようになってきています。これまでの利上げの累積的な効果による景気への影響には警戒が必要ですが、引き続き皆様からお預かりしている大切な資産を守り、さらに成長させていけるように、当社一丸となって全力を尽くして運用してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（2月1日）

まるごとひふみ
ファンドマネージャー
岡田 泰輔

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社ＪＰＸ総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、ＪＰＸにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

日銀は1月の金融政策決定会合でYCC（イールドカーブコントロール）の10年金利上限を0.5％に据え置きました。12月に続く再度の修正を予想していた市場参加者は肩すかしを食らった形になりました。共通担保オペを活用して市場金利を低下させるという緩和方向のアクションが加わったのもサプライズでした。投機勢をけん制することが主な理由であったと考えていますが、いずれにしても市場機能の回復にはほど遠く、YCCのさらなる修正は時間の問題でしょう。10年スワップ金利は乱高下したのちに0.86％程度に戻りました。ファンダメンタルズでは、東京都CPI（消費者物価指数）等インフレ指標がやや強いことが気になりますが、基調的にインフレが2％を超えるのは難しく、短期金利のゼロを脱する程度のインパクトがせいぜいと見ています。日本国債のイールドカーブは十分スティープ（傾きが急）であり超長期債を選好しています。

米国10年金利は、3.51％に低下しました。次回（1/31、2/1）FOMC（連邦公開市場委員会）では0.25％に利上げ幅を縮小することが確実視されています。FRB（連邦準備制度理事会）は労働市場のひっ迫（低失業率の持続）を理由にタカ派（金融引締派）姿勢を維持する構えですが、コアCPIの直近3カ月間の年率換算値は3.1％と想定以上に下落しており、利上げ停止までの距離はかなり近くなってきました。国債以外でも投資適格社債やモーゲージ債の対国債スプレッドは低下しており、投資家からのドル建て債券需要は堅調です。ファンドではモーゲージ債を一部売却し中期米国債に入れ替えました。

独10年金利は前月よりやや低下し2.29％で月末を終えました。12月のECB（欧州中央銀行）会合では今後の大幅な金利上昇が示唆されましたが、その後はECB高官、関係者のコメントに右往左往する展開でした。景気が当初想定よりも悪くないとの評価で欧州株が堅調な中、イタリア、スペイン国債も対ドイツ国債で買われました。

引き続き全力で運用してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

（2月1日）

運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

2023年もはやくもひと月が過ぎました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今月のひふみ投信マザーファンドのパフォーマンスは+2.83％、TOPIX（東証株価指数、配当込み）は+4.42％と、TOPIXには劣後しましたが、前月からの実績はプラスで終わりました。２月以降TOPIXにも追いついてアウトパフォームしていこうと意気込んでいます。

私がファンドマネジャーに復帰して初めての月でしたが、大きく動かさずまずはポートフォリオの中身の分析と今後のポートフォリオ戦略、およびチームの中でどのようにひふみ投信マザーファンドを改善していくか話し合いをしていました。

これから少しずつ改善していき、2023年を通じてお客様に満足していただける結果を出していこうと考えております。

長期的なテーマとしては、

１）日本の大企業で積極的な成長路線に舵を切っていく会社の見極めと投資
２）超割安になった成長株を大量に底値買い

をすることです。

１の見極めには少し時間をください。これは大きく深く儲けることが期待でき、今後のひふみ投信マザーファンドのリターンの源泉になってきます。２については、これからの半年間にどれだけ発掘し、かつ投資をしきれるかの勝負になると思っています。５年に一度の“バーゲンセール”が始まっています。

短中期的には日銀総裁人事と日銀の金融政策の変化、米国のインフレと金融政策の見極め、また地政学的リスクとしては中国の台湾侵攻リスク、ウクライナ戦争の行方などがあります。

また半導体関連企業の業績および株価の改善なども大きなテーマになるでしょう。これからまるごとひふみをさらに魅力的に、中長期的に「守りながらふやす運用」ができるように全力をあげて運用していこうと思います。

（2月3日）

ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

季節は移ろい行くもの

ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕

ひふみワールドマザーファンドの1月末のパフォーマンスは+5.24%となり、2023年は順調なスタートを切りました。昨年から続いていた「インフレ～米長期金利上昇～景気後退への懸念」という長く暗かった季節も過ぎ去り変化の兆しが見えています。コロナ禍で始まったヒト・モノ・カネの混乱が正常化へと進む中、米国の賃金や物価には減速傾向が見られFRB（連邦準備制度理事会）が目指す物価安定目標が視野に入りつつあります。また一部経済指標では景気減速も観測され、昨年後半から燻っていた「金利上昇～景気後退」という構図も現実化しつつあることから、市場参加者の間にはFRBは「景気悪化を理由に金融引き締めスピードを緩める」あるいは「高水準の政策金利を長く維持する懸念が薄れた」との見方すら出ています。

このような環境下で迎えたFOMC（連邦公開市場委員会）では、事前予想通り0.25%の利上げが決定されました。その声明文では「インフレが幾分緩和された」ことや「政策金利目標の継続的な引き上げが適切」とされ、パウエル議長発言では「ディスインフレーション（＝金融引き締め政策などにより物価上昇ペースが鈍化する経済状態）」のプロセスが始まっていることに自信を深めつつも金融環境が緩んでいると叩くこともなかったことから、次回FOMCでの利上げ打ち止めへの期待を持たせるものとなりました。

さて1月は決算発表シーズンです。先週末時点でS&P500企業のうち約3割の企業が既に発表を終えていますが、うち70%近い企業が予想を上回っており、事前想定ほどには悪くありません。またQ2あるいは2023年度予想もマイルドリセッションを前提にかなり保守的であり、その結果、12ヶ月先PER予想は18倍に上昇し、「最終局面に近づくほど株価の割高感が高まる」という典型的な「逆業績相場」の雰囲気を漂わせています。このような環境下で我々は業績見通しの固い銘柄へ集中投資を行ない、その一方で大きく株価上昇した一部のラグジュアリー企業やテクノロジー企業をスライス・売却するなどして、全体として保有銘柄数の削減を行ないポートフォリオの筋肉質化を進めています。引き続きまるごとひふみをどうぞよろしくお願いします。

（2月2日）

市場環境の見通しについて

運用本部
経済調査室長
三宅一弘

米物価減速と金融政策転換、株式相場好転の兆候

底入れ、上昇体制固めに移行する世界株

欧米株をはじめ世界株は年初以降、好転の様相を強めています。40年ぶりの物価高騰と強硬な金融引き締め、長期金利の急騰が昨年の世界的な株価調整の主因でしたが、米国の物価減速が鮮明化する中で、金融政策面では利上げ幅の縮小、米債券市場における長期金利の低下など投資環境の改善が目立ってきました。ロシアへのエネルギー依存度の高い欧州経済は、露宇戦争と西側の対ロ経済制裁によって景気悪化観測が著しく高まりましたが、暖冬などもあって暴騰していた天然ガス価格が急落、急騰していた物価が軟化に転じ、深刻な不況（景気後退）に陥るリスクは低くなったと推察されます。加えて、中国は昨年末にかけてゼロコロナ政策（都市封鎖）に伴う経済活動の落ち込みが際立ちましたが、ゼロコロナ政策を撤廃し、感染急増の混乱を交えながらも先行き景気好転の兆しが出てきています。日本経済も昨秋以降のインバウンドの解禁や設備投資の底堅い動きなどからすると、堅調が予想されます。

総じて言えば、3年間のコロナ禍（世界的な感染拡大）による「ヒト、モノ、カネの混乱」が世界的な物価高騰を招きましたが、2023年は賃金・物価の沈静化を典型に世界経済・投資環境は好転の動きを強めそうです。このような大勢観の下で当面、以下が焦点になりそうです。

まず、米国の金融政策に関して利上げ停止時期と、その先の利下げタイミングです。2月1日のFOMC（金融政策会合）では0.25％の利上げを実施しましたが、前回12月の0.5％に比べて利上げ幅を縮小しました。次回3月のFOMCで経済・金利見通しが発表され、利上げ停止時期のヒントが示されそうですが、米国の利上げはほぼ最終局面でしょう。ユーロ圏の金融政策は、米国に各々数ヵ月程度遅行する形で「利上げ幅の縮小⇒同停止⇒利下げ」が進行する可能性が高そうです。一方、日本は物価高進行の中で日銀の超緩和策（イールドカーブコントロール、YCC）の修正（実質的な利上げ）が市場の焦点になっています。黒田総裁退任後、新しい正副総裁の下でYCCの修正が行なわれるとの観測が強いですが、日米欧の金融政策から言えば円高圧力がかかりやすく、円高下のYCC修正は日本株にとっては波乱要因の1つになりそうです。

世界景気の面では、欧米物価の沈静化などで金融引き締め政策が最終局面に近づき、極端にブレーキを踏み込むことがなくなり、深刻な不況（景気後退）のリスクが低減しそうです。中国の経済再開もポジティブに効きそうです。1月末に出されたIMF（国際通貨基金）の世界経済見通しでは、久しぶりに23年見通しが小幅ながら上方修正となりました。昨今の情勢を受けて市場では欧米経済のソフトランディングシナリオの確度が増したとの評価です。

世界株は底入れを確認し、上昇相場の体制固めの局面に入りつつあると推察されます。主要国企業の収益は足元にかけて下方修正（予想EPSの軟化）の流れが続いています。年前半はこの流れが継続し、企業収益は年央にかけてモメンタムのボトムを探る展開でしょう。一方、物価減速を受けて米国の長期金利は低下基調に転じており、予想PER（株価収益率）も底入れ・上昇基調です。株価下落要因の予想EPSの低下と、株価上昇要因の長期金利の低下と予想PERの上昇が綱引きする構図ですが、後者の株高要因が優る構図にあると考えられます。物色面では昨年大幅に下落したハイテク株など成長株が再び市場人気を集め出しているようです。

（2月2日）

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

最近よく見ている動画や、おすすめの動画を教えてください。

	Fujino Hideto 藤野 英人 代表取締役会長兼社長 最高投資責任者	英語の勉強会の動画、将棋の解説動画、ピアノの動画、仕事関係で役立ちそうな動画（経済・投資など）、グルメ動画、などいろいろです。テレビはまったく見ません。
	Yuasa Mitsuhiro 湯浅 光裕 代表取締役副社長 未来戦略部長	TikTokをちらちら見ています。世界中のおもしろ映像を見ると同時に、災害や事故映像が流れてニュース性もあって重宝しています。
	Watanabe Shota 渡邉 庄太 運用本部長 株式戦略部長 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	お掃除系はよく観てます。重曹、クエン酸、サンポールなど定番アイテムの大活躍が楽しいです。
	Yatsuo Hisashi 八尾 尚志 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	Amazonプライムで映画を見ることが多いです。あとはYouTubeやCNBCで海外の大学院の講義や海外マーケットニュースを英語で流し聞きしています。情報のインプットを行なうことは当然なのですが、英語に耳を慣らしておくということも意識しています。就寝前はお笑い動画を見て幸せな気分でベッドに入ります笑
	Sasaki Yasuto 佐々木 靖人 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	最近は動画よりも、音声メディアばかりを聞いています。特に歴史や哲学などを楽しく学べるコテンラジオのPodcastはスーパーお勧めです。
	Wei Shanshan 韋 珊珊 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	最近CESの動画を見ました。BMWの色の変わるコンセプトカーが印象的でした。車好きではありませんが、どんどん面白くなっていく乗車体験に非常に興味がわきました。

運用メンバーからのメッセージ

Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

YouTubeでは猫、鉄道、飛行機、ラジコンのチャンネルばかりを見ています。鉄道系チャンネルは西高東低で、関西に住むYouTuberのチャンネルに勢いがありますね。あとは夜の20時以降はCNBCをつけっぱなしにしています。

Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

知見のない分野の調査活動をする際には専門家が説明している動画を見ることがありますが、いつも1.2倍から1.5倍速で見ていることが多いです。2倍速だと聞き取りが難しい場合もありますが、1.2倍速から1.5倍速程度は時間短縮かつ集中もしやすい印象があり、個人的には気に入ってます。

Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト

移動中や家事中などのスキマ時間を見つけては、歴史や地理を学べるYouTubeを観ています。大人の教養を身に着けるべく頑張っています。

Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト

企業の紹介動画や製造業の工場見学動画をよく見てます。あとは海外の大学講義がアップされているので、知識を増やすために見ています。

Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

イチオシはRippin Rosieという名のサーファー犬の動画です。きわめて普通のおじさんとラブラドール犬Rosieが一緒にサーフィンをする動画です。ワンちゃん好きにはたまりません。
一方、情報収集には動画ではなく本を意識的に活用しています。オンラインで流れてくる動画は属人的な嗜好に左右されますが、読書では著者独自の持論が展開されます。そのため思いがけない知識・視点と出会えることがあります。

Moriyama Haruki
森山 治紀
アナリスト

生き物が好きなので生物採集や爬虫類飼育の動画をよく見ています。カメレオンがコオロギを食べる様子を見て癒されています。

Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト

お笑い芸人さんのYouTubeチャンネルをよく見ています。テレビでよく見る芸人さんが、自分の喋りたいように喋っているという点が魅力で、好きな芸人さんをさらに推しやすくなったように感じています。すべての動画が漫才のネタの人もいれば、すべて企画ものという人もいて、投稿形式や内容にも個性があります。

運用メンバーからのメッセージ

Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマネジャー

動画投稿者が金銭的報酬を得るビジネスモデルのおかげで、質の高い情報が手軽に得られるようになったと感じています。自身の成果としてはゴルフのスコアに微妙に表れている程度です。若者のように検索エンジンとしてYouTube、Instagramを駆使したいと思っています。

Chiba Toshinobu
千葉 俊信
債券戦略部
シニア・ファンドマネジャー

釣り・ダンスといった自分の趣味系の動画を見ています。

Okada Taisuke
岡田 泰輔
未来戦略部
シニア・ファンドマネジャー

YouTubeはプレミアムに加入するぐらいのヘビーユーザーで、金融経済、マネー、料理、筋トレ、ランニングといったジャンルを幅広く網羅して観ています。ただし、最近改めて思うのはテレビ局の企画力・登壇者の起用力の強力さで、テレ東BIZが土曜日の朝に配信している「モーサテサタデー」を毎週感心しながら観ています。

Homma Yuki
本間 雄揮
アナリスト

しもふりチューブを見ています。毎日18時に公開されるので毎日楽しみにしています。私のお勧めは「負けたら高級寿司代全額自腹のガチ勝負」です。

Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

隔週に「三宅の目」の動画配信をしていますが、反省点が多く、動画を視聴してあれこれ改善点など考えています。

Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

自分の知らない領域について新しく学ぶときは、YouTubeを活用することは多いです。関連動画を10個、20個…と見て、総合的に頭の中にイメージを形作っていきます。

ひふみアカデミー（月次運用報告会）のご案内

毎月、運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明している「ひふみアカデミー」。運用メンバーより、動画配信にてご報告しております。

運用状況の他、経済環境や株式市場、経済見通しを知りたい方にもおすすめのセミナーです。Q&Aを含む全編をご覧いただけます。

YouTube動画セミナー「ひふみアカデミー」
https://www.youtube.com/playlist?list=PLkwGm3S_gh8S2ze4qSie9yAjrJidz3_7t

まるごとひふみの特色

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50
投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。
まるごとひふみ100
投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

1．投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
まるごとひふみ15、まるごとひふみ50
実質的に株式と債券に分散投資を行なうことで、基準価額の変動幅をおさえ、信託財産の中長期的な成長を目指します。
まるごとひふみ100
実質的に国内株式と海外株式に分散投資を行なうことで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

2．資産配分比率が一定の比率となることを目指して運用を行ないます。
資産の実質的な保有比率が概ね以下の比率となるように、投資対象ファンド（ひふみ投信マザーファンド、ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）、ひふみグローバル債券マザーファンド ）の基本配分比率を調整します。
まるごとひふみ15　原則、株式約15％、債券約85％
まるごとひふみ50　原則、株式約50％、債券約50％
まるごとひふみ100　原則、株式約100％　※まるごとひふみ100は、ひふみグローバル債券マザーファンドには投資を行ないません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因
- 投資信託証券への投資を通じて株式や債券など値動きのある証券（外国の証券には為替変動リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、投資対象とする投資信託証券においては組入有価証券を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	投資対象とする投資信託証券において外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

商品分類	まるごとひふみ15、まるごとひふみ50　追加型投信／内外／資産複合 まるごとひふみ100　追加型投信／内外／株式
設定日	2021年3月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。
購入単位	販売会社が定める単位となります。なお、収益分配金の再投資は、１円以上１円単位となります。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金（解約）単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。（申込受付不可日は除きます。）ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等をすることがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用
申込手数料 ：3.30%（税抜3.00%）を上限として、販売会社が定める料率とします。
「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。
信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

<table>
<tr><td>運用管理費用
（信託報酬）</td><td>信託財産の日々の純資産総額に対して下記に記載の信託報酬率を乗じて得た額
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。
日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドの信託財産から支払われます。
運用管理費用の配分
<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>まるごとひふみ15</th><th>まるごとひふみ50</th><th>まるごとひふみ100</th></tr>
<tr><td colspan="2">信託報酬率</td><td>年率0.660%
（税抜年率0.600%）</td><td>年率0.935%
（税抜年率0.850%）</td><td>年率1.320%
（税抜年率1.200%）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">支払先の配分（税抜）</td><td>委託会社</td><td>年率0.290%</td><td>年率0.415%</td><td>年率0.590%</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.290%</td><td>年率0.415%</td><td>年率0.590%</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.020%</td><td>年率0.020%</td><td>年率0.020%</td></tr>
</table>
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。</td></tr>
<tr><td>投資対象とする投資信託証券</td><td>投資対象ファンドにおける運用管理費用
純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額
<table>
<tr><th></th><th>まるごとひふみ15</th><th>まるごとひふみ50</th><th>まるごとひふみ100</th></tr>
<tr><td>ひふみワールドファンドFOFs用
（適格機関投資家専用）</td><td>年率0.00264%
（税抜年率0.00240%）</td><td>年率0.0088%
（税抜年率0.0080%）</td><td>年率0.0176%
（税抜年率0.0160%）</td></tr>
</table>
※ 上記は投資対象ファンドを基本の組入比率に従って組み入れた場合の運用管理費用（信託報酬）です。この値は目安であり実際の組入状況により変動します。
※「 ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」は、運用管理費用（信託報酬）がかかりません。</td></tr>
<tr><td>実質的な負担</td><td>純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額
<table>
<tr><th>まるごとひふみ15</th><th>まるごとひふみ50</th><th>まるごとひふみ100</th></tr>
<tr><td>年率0.66264%程度
（税抜年率0.60240%程度）</td><td>年率0.9438%程度
（税抜年率0.8580%程度）</td><td>年率1.3376%程度
（税抜年率1.2160%程度）</td></tr>
</table>
※ 基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。</td></tr>
<tr><td>監査費用</td><td>信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</td></tr>
<tr><td>その他費用・手数料</td><td>投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。</td></tr>
</table>

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第1151号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：三井住友信託銀行株式会社
販売会社：後述の「販売会社」でご確認いただけます

当ファンドや販売会社についての照会先

RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
電話：03-6266-0129
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○	
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第36号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
長野證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第125号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○